

カラー撮影

カラー撮影の場合は、フィルム寛容度が極めて少ないため少しの露出の過不足があっても美しい色は再現出来ません。測定の場合フィルム感光度を指定どおり正確にセットすることと、明るい部分を常に露出の基準とすることです。なおカラー撮影の場合セコニック標準反射板をご使用になりますと良い結果が得られます。

海岸や雪景色の場合

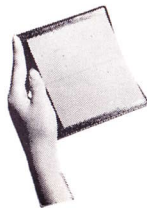


海岸や雪景色などの強い光線のもとで、人物等を撮影する場合、カメラ位置で測定するときは、指示されたライトバリュー目盛より一段低い目盛をご使用になって下さい。例えば10と出た場合には一目盛下の9をカメラにセットして下さい。

ゼロ・アジャスト

メーター裏側についているゼロ・アジャストネジは原則として余りいじらない方がメーターのためによいのですが、止むを得ない場合、受光部を完全に光が入らないようにして、小さなドライバーで針が0の位置へ戻るよう左右いづれかえ静かに廻して下さい。

セコニック標準反射板



セコニック標準反射板は標準反射率18%の無彩色に塗られておるもので、どんな状態の光線でも18%より反射して来ませんから、いつでも標準の露出が得られます。カラー撮影の時や、被写体に明暗差のある物を測ったりするような時にご使用になると良い結果が得られます。

お買上げになった場合 ファンカードに記入の上サービス部宛お送り下さい。

メーター故障の場合 直接弊社修理部宛にお送り下さい。

一年間のメーター自然故障は無料で修理致します。その他の故障については実費にて修理致します。

メーター取扱上の注意

- ・湿気の多い所へ長く置かないで下さい。
- ・摂氏60°以上の高温を与えないで下さい。
- ・大きなショックを与えないようにして下さい。
- ・長い間使用しない場合には桐箱へ防湿材等と共に皮ケースを外して保存して下さい。金庫や金属の容器への保存はなるべく差しひかえましょう。

セコニック・L・Vペットは完璧な防塵装置により革ケースは不要ですが御希望により下記の通り販売致しております。

¥150.

セコニック・ペット(スナップ専用メーター)
セコニック・ムービーペット(ムービー専用メーター)も市販されております。

SEKONIC LV

pet



SEKONIC ELECTRIC CO., LTD.

セコニック・LVペット

セコニック・LVペットの使い方

人物撮影には

風景の撮影には

セコニック・LVペットはライトバリュースペシャル専用露出メーターで反射光線直読式です。

- 1.測定する前にメーター裏側にあるつまみを廻してあなたのご使用になるフィルムの感光度をASA窓に正しく出して下さい。
- 2.ダイヤル上の三角印を窓の中の点に正しく合わせて下さい。
- 3.メーター受光部を正しく被写体に向けますと被写体の明るさに応じて針が振れダイヤル上のライトバリュースの値を示します。
- 4.針の振れたライトバリュースの値をカメラにセットすれば正しい露出が得られます。なお針がスケール上の+1のガイドラインを示したときはダイヤル上のライトバリュースの値に1を加えて下さい。例えばASA、100のフィルムを使用して測定した場合、ライトバリュースに1を加えて17をカメラにセットすればよいのです。
- 5.フィルターを使用の場合は窓の中に三角印右の2.4を合わせて下さい。

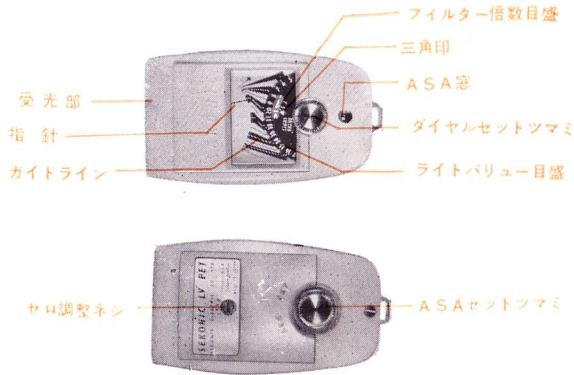
1) 人物を主とした場合には、被写体の背景の空からの光線が露出メーターの受光部に入らないように、人物に約10cm位近づき測定して下さい。

2) この際メーターを持った手の影が人物に落ちないように注意して下さい。

3) また被写体の反射は衣服の明暗によってそれぞれ異なりますから、最明部と最暗部を測りその平均を出して露出を決定して下さい。

4) なお簡易法として自分の手の平を代用測定して露出を決定しても差しつかえありません。

1) 風景を測る場合には、カメラ位置からメーターの受光部を風景の中心に向けます。2) その際空の光が入らないように地平線と自分の足もととの中間に向けて測って下さい。3) しかし展開した風景や、遠くの山山を写すような場合は、得られた値に1を加えて下さい。例えばライトバリュース10に出た場合には1を加えて11にすれば正しい露出になります。



- 反射光線直読式 (イトバリュース専用メーター)
- ASA感光度目盛 ASA10-200
- ライトバリュース目盛 2-18
- フィルター倍数目盛 $\times 1.5 \cdot \times 2 \cdot \times 4$

